



飯能ロータリークラブ会報



唐竹晩秋 Karatake in late autumn

© photo by Isao Yoshida

ロータリーは機会の扉を開く

RI会長 ホルガー・クナーク

2570地区ガバナー 相原茂吉

第3グループ
ガバナー補佐 西澤長次

Let's make fellows! 友達をつくろう

第2931例会 2020.10.21

—— 地域社会の経済発展/米山月間 ——

天候 晴 (NO. 57-17)

会長 田辺 實 幹事 森 健二

例会日 水曜日(12:30~13:30) 当番 大野(泰)君、大野(正)君

例会場: ホテル・ヘリテージ飯能sta.

☎(042)975-1313 ☎357-0038 飯能市仲町11-21

事務局: 飯能商工会議所内 ☎357-0032 飯能市本町1-7

☎(042)973-1661 FAX(042)973-1662

http://www.hanno-rc.org/ E-mail: hannorc@hanno.jp

- ・点鐘 田辺会長
 - ・ソング それでこそロータリー 四つのテスト
 - ・卓話 金山範夫会員 鳥居崇会員
- ◎(幹事より) 炉辺会合でのご意見に基づき、円卓形式に戻すのを機会に本日と来週、**新会員の名刺交換**を行う事とします。(約10分間)

【会長報告】

古希の藤原会員にお祝いを贈呈します(拍手)。本日出席の坂本(幹)会員には快気祝をお渡ししました。

14日、島田会員のお母様のご逝去。翌日の通夜にクラブとして弔問。ご冥福をお祈り申し上げます。

本日、夜間例会を通常例会に変更した代わりに10名単位の炉辺会合を7回開催。ご協力により大変有意義な会となりました。有難うございました。

本日より円卓形式に戻り、年度方針の、親睦を深めお互いが切磋琢磨し自己研鑽に励む例会となるよう進めていきます。飛沫防止パネルについては増島先生はじめ多くの会員のご助言を頂き、製作に当たっては馬場、天ヶ瀬会員に多大なご協力を頂きました。厚く御礼申し上げます。「3分間スピーチ」に代わる名刺交換を先程行いました。

12日、地区大会のイベント「地区クラブ対抗ゴルフ大会」(鳩山CC)に矢島(高)副会長、森幹事、本橋 SAA と参加。今後多くの会員に参加して頂く事を期待します。

「人間という奇跡を生きる(1)人の心を正しく導く人間学」人間の本质は全然変わっていない。人間の心は絶えず三毒五鈍使に染まり、自分の運命をダメにしていく。釈迦は2千年以上前からそうおっしゃっている。人間を滅ぼすのは人間の心。心を正しい方向に導いていかない限り運命は狂わされる。人を滅ぼすのも高めていくのも心。心一つで運命を高める事も落とす事も出来る。釈迦もキリストも孔子も人間の心を正しい方向に導いていかなければいけないと説いた。しかしその道は未だ完全に成就されていない。釈迦でもキリストでも孔子でも、その教えに出合った一人ひとりが「ああそうなんだ」と思って、そこに説かれている道を行って行く事なのである。それがこの世の中を良くしていく事になり、自分の人生を高めていく事になる。

人の心を正しく導く感謝。どう心を養えばよいか。ひと言で言えば感謝。どんなに絶望的な状況でも、その人が本当に心の底から「この絶望的な環境は自分自身を生まれ変わらせてくれるチャンスだ。有難い」と思った瞬間、絶望的な環境は拝みたくなくなるような環境に変わる。闇が光に変わる。どんなに嫌な人が居ても「その人が自分を育ててくれるか

もしれない」と思って心から感謝すればその人は仏様になる。心の底から「ああ、この環境によって自分は救われる。成長出来る」と思った瞬間、その環境は素晴らしい光に満ちた環境に変わるのである。感謝ほど素晴らしいものはない。それなのに人間はなかなか感謝出来ない。感謝の練習を常にすれば習慣が出来、感謝が身に付いてくる。嫌な人にも「有難い。私を導いてくれる人だ」と思って感謝。何があっても感謝。感謝の練習をするのである。良いものは良い方向に、悪いものは悪い方向に循環していくようになっていく。その悪い連鎖を断ち切るのが感謝なのである。だからこそ練習しなければいけないのである。

【幹事報告】

11日役員理事会。3日地区大会は制服、名札着用。

◎例会変更のお知らせ

◇所沢中央RC

- ・11/2(月) 例会取止め(定款による)
- ・11/16(月) 振替休会 11/3地区大会
- ・11/23(月) 祝日休会
- ・12/21(月) 例会・忘年会「ベルヴィ」
- ・12/28(月) 特別休会

【委員会報告】

◎親睦活動委員会

中山君

10/25 親睦ゴルフコンペは9時集合です。

◎ロータリー情報委員会

和泉君

10/24「世界ポリオデー」RIのHP、FBをご覧下さい。30数年前からポリオ根絶の活動を行ってきたRI。毎年35万人が罹患していましたが、アフリカは3年前0人になり3年間0人で、8月、終息宣言。残るはパキスタン、アフガニスタン。RIのパートナーはビル・ゲイツと夫人の財団、ユニセフ、JICAです。

◎地区ロータリー財団委員会

大崎君

17日、国立女性教育会館でのセミナーに矢島(高)会員と参加。「世界ポリオデー」周知、事業の状況報告等。地区大会で当委員はポリオ根絶の「赤いTシャツ」を着ます。募金のご協力を是非お願いします。

◎社会奉仕委員会

吉澤君

地域安全運動の一環で、15日10時~飯能駅前「振り込め詐欺被害防止キャンペーン」。会長、幹事、和泉、中川会員と参加。飯能警察署の方も久しぶりの実施に喜んでおられました。

会員数		当日		前々回修正 出席率
全数	対象	出席数	出席率	
69名	6名	61名	88.41%	92.75%

【M U】

10/12 (ゴルフ) 田辺君、森君、矢島(尚)君、本橋君
10/17 (地区) 矢島(峻)君、大崎君

【SAA報告】

◎ニコニコBOX

- ・ 炳辺会合に多くの会員の皆様にご出席頂きまして大変有意義な親睦を深める事が出来ました。有難うございました。 田辺君
- ・ 大野史佳様、優勝おめでとうございました。 田辺君
- ・ 先週退院して来ました。またこれからもよろしくお願ひ致します。 坂本(倅)君
- ・ 古希になりました。今後もよろしくお願ひします。 藤原君
- ・ 大学2年砲丸娘、関東インカレ15m 46。大雨の中、優勝しました！ 大野(康)君
- ・ 先週土曜日の夜放送のテレビ朝日「博士ちゃん」出演には皆様にご覧頂き有難うございました。 前島君
- ・ 娘が結婚しました。 吉田(行)君
- ・ 早退します。 都築君、本間君

本日計 34,000 円、累計額 407,000 円。

◎28日例会当番は島田、杉田会員です。

【卓 話】

講師紹介 伊澤プログラム委員長
飯能信用金庫飯能中央支店長:金山会員は6月入会、
(株)サンワテクノス代表取締役:鳥居会員は7月入会です。

イニシエーション・スピーチ

飯能RC 金山範夫会員 鳥居 崇会員



金山会員 S38年生まれ、57歳。生まれも育ちも入間市です。S38年には伊藤博文の千円札発行、「鉄腕アトム」放送開始、力道山刺殺、ケネディ暗殺等ありましたが、翌年の東京五輪に向けて日本経済は成長期でした。両親は飯能に勤務した事もあり妹は飯能高校、私は飯能自動車学校にお世話になりました。夏には飯能河原に遊びに連れられて来たり、小学校の頃は自宅近くの入間川や雑木林で暗くなるまで遊びました。高学年の頃、独立して溶接関係の仕事を自営でやっていた父には飲む機会も多く、ある晩、酔って帰宅すると急にそわそわし出し、集金した小切手を落としてきたと言うのです。母の形相が鬼のように変わっていったのを鮮明に覚えています。おおらかで時に怖い父が子どものように小さくなっているのを見て「ああいう大人にはなりたくないな」と思い、お酒の失敗は止めようと心に誓いました。

中学ではサッカーに明け暮れ、県立狭山高校では柔道部に入り、体は鍛えられました。学校推薦で亜細亜大学に進学。東都大学リーグでは有名で、当時、パンチ佐藤や阿波野が居ましたがグラウンドがあきる野だったため姿を見る事はほぼありませんでした。前任の新井支店長も2期上の先輩です。「ガソリン代」欲しさにずっとアルバイトをしていた学生生活で、父からは「技術が無いのに家業を継ぐなんて事は考えるな」と言われました。当時うちに来ていた飯信の担当者が気さくな方だったので、自宅から通えるし、地元で貢献出来る仕事だと思って、金融機関を何行か受けてみたところ、たまたま飯信にお世話になる事になりました。

最初の配属は狭山西支店。高校に近く、土地勘があり、営業にはラッキーでした。時はS61年、バブル初期。定期預金金利は3%台半ば。H2年には6%台。12年で元金が倍になる夢のような金利でした。配属された11店舗の中で特に思い出深いのは新店舗の開設で担当したふじみ野と西東京支店。西東京は広範囲の大規模支店で

かなり苦労しました。今も取引を続けて頂いているとの事で、苦勞のし甲斐があったのかなと思っております。飯能中央支店に勤務して6か月。RCにも入会させて頂き、いろいろな方とお話させて頂いている事に感謝申し上げます。良い思い出をつくれるよう頑張っていく所存です。54年経った社屋は現在建て替え中で2022年秋の完成予定です。今後共ご指導の程よろしくお願ひ致します。



鳥居会員 S50年生まれ、45歳。2人兄弟の次男で、生まれも育ちも所沢。3年程前から職場と実家の中間の上藤沢に住んでおります。大学卒業後、父の経営する医療ガスの会社を兄が継ぎ、私は経理を担当する予定で簿記の専門学校に通っていましたが、ところが経営が厳しくなりそうだったので、家族会議を開いた末、事業を譲渡してそれぞれやりたい道に進む事になりました。やりたい事の無かった私は譲渡の半年前に父の会社に入社。父は会長として1年間残り、親族は全て退職、私だけ一人残る形になりました。その後はサラリーマンとして17年間、「エア・ウォーター東日本(株)」在宅医療部に所属し、主に在宅酸素の仕事をしておりました。呼吸器疾患のある患者様の自宅に酸素の濃縮器を設置して吸入を行うもので、主な業務は医療機関への営業、器械の設置・回収、ボンベの配達、緊急トラブル対応。24時間対応なので携帯は手放せず、入浴・就寝中も常に気をつけていました。一番辛かったのは東日本大震災後の計画停電の時。電気が無いと酸素の供給が出来ないため、日中は停電する地域の患者様の酸素ボンベを切らさないよう配達し、夜はガソリンスタンドに並ぶという状況で、3週間程休み無しで働きました。患者様やご家族から感謝の言葉を頂いた時には人の役に立っているという実感があり、やりがいのある仕事でした。

仕事を辞めるきっかけは父の病でした。腎臓がんがすい臓等に転移して手術が出来ない状態となり、最後の望みで、鹿児島県のオンコロジークリニックという医療機関で放射線治療を受ける事になりました。父と過ごせる最後の機会になるのかなと思ひ、会社を辞め、2か月程鹿児島に同行しました。しかし、一度の治療では完治せず、一度地元に戻り、再度鹿児島に向かう予定だったのですが、父の体調が厳しくなり、1か月後に亡くなってしまいました。父と桜島に行ったりとか、いろんな貴重な時間を過ごせたので、仕事を辞めて良かったと思っております。

鹿児島から戻った時には無職で、仕事を決めなければいけないと思っていたところ、いろんなご縁があり、今の会社に入社致しました。飯能市クリーンセンターでの業務は大きく2つあり、1つがリサイクル施設の保守管理。粗大ごみや不燃ごみを破碎、選別する事で再資源化する施設全体の運営、機器・設備の清掃・点検・整備が主な仕事です。もう1つが一般ごみ受入施設の運営で、市民が直接持ち込むごみの受付をする業務です。今年は緊急事態宣言で持ち込みが減るのかなと考えていたのですが、逆に自宅の片づけをする方が多く、来場者数は昨年より1割増、粗大ごみの持ち込み量は急激に増加しました。人の接触を減らしながら感染対策を講じた上で、大量に持ち込まれるごみを処理するのは結構大変な事ではあったのですが、飯能市様のご協力も頂きながら、従業員の頑張りもあり、何とか乗り切ることが出来ました。

最近の傾向として、リチウムイオン電池やモバイルバッテリーの普及に伴い、不燃ごみやその他のごみに混じって集積場に出されるケースが多く、収集車の中で発火したり、リサイクル施設内で爆発という事も全国的に増加しております。中身の残った、穴の開いていないスプレー缶があるとさらに危険です。市民の皆様には分別と適正な処理をお願いしたいと思っております。我々クリーンセンターの業務は地味ですが、市民生活に不可欠な重要な仕事と認識しております。重要な環境インフラを止める事なく安定的に運営していく事が我々の使命でもあります。いろんなご縁があって仕事をさせて頂いている飯能市に貢献出来る会社を目指して、また、個人としては奉仕を通じて世の中に貢献出来るよう努力して参りますので、今後共ご指導よろしくお願ひ致します。